

第 1 回大船渡市国土強靱化地域計画検討会議議事概要

日 時	令和 2 年 9 月 23 日（水） 午後 2 時 00 分～午後 2 時 40 分
場 所	大船渡市役所 地階大会議室
出席者	<p>【委員】 阿部千枝委員、米澤勉委員、馬場聡委員、大久保守正委員、猪股拓也委員、大森ユキ子委員、佐藤和行委員、村上博委員、金野敏夫委員、鈴木郁子委員、山蔭康明委員、相澤友実委員、紀室裕哉委員、佐々木好子委員、新沼真弓委員、伊藤こずえ委員 計16名（新沼京子委員は、所用のため欠席）</p> <p>【市職員等】 田中聖一防災管理室長、武田英和企画政策部長、及川吉郎防災管理室次長、伊藤喜久雄企画調整課長、山口浩雅課長補佐、迎山光課長補佐、田村勇貴係長、大和田瞬主事補 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 洞庭敏昭次長、苅田都萌子技師、大沼律之盛岡事務所長</p>
議 事 の 概 要	
<p>午後 2 時、武田企画政策部長の進行により開会 武田企画政策部長が、名簿により国土強靱化地域計画検討会議委員を紹介した後、委員を代表して、新沼真弓委員に対して戸田市長から委嘱状を交付した。 続いて、戸田市長から挨拶。要旨は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から市政の各般にわたり、多大なる御支援、御協力をいただいていることに、厚く感謝 ・昨今、気候変動の影響等による気象の急激な変化や、自然災害の激甚化が進行し、大規模な自然災害が毎年のように発生 ・大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を計画的に実施していくことが必要であり、国土強靱化地域計画を策定し、いかなることが起きようとも致命傷を避け、被害から迅速に回復することができる「強さ」と「しなやかさ」を備えた地域社会づくりを進めていきたい。 ・策定に当たっては、委員の皆様から忌憚のない意見・提言をお願いしたい。 <p>※挨拶後、戸田市長は退席 伊藤企画調整課長から資料 1 に基づき、検討会議の役割について説明</p> <p>議事(1) 会長及び副会長の互選について 武田企画政策部長から「検討会議設置要綱第 5 条により検討会議に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選とする」との説明後、選出方法について委員に諮ったところ、佐々木委員から事務局案を示すよう提案された。武田企画政策部長から事務局案として、会長には金野敏夫委員、副会長には大森ユキ子委員をお願いしたいと提案し、委員に諮ったところ、異議がなく拍手で承認された。 以降、検討会議設置要綱第 5 条の規定により、金野会長が議長となって進行</p> <p>議事(2) 「大船渡市国土強靱化地域計画」策定について 資料 2 から資料 4 までを一括して田村係長から説明 以下、質疑応答</p>	

【会長】

岩手県の地域計画に対し、大船渡市独自の内容はあるのか。

【事務局】

岩手県の地域計画は、大船渡市を含め、県全域が網羅された計画となっているため、原則として、岩手県の地域計画に準拠させた形を想定している。

なお、新型コロナウイルスへの対応について計画に盛り込むことを検討しているが、対象とするリスクとして新型コロナウイルスを地域計画に設定している事例が現時点で確認できていないことから引き続き情報収集を行っていく。岩手県の第2期地域計画においては、避難所の感染症対策として盛り込まれる予定であるため、岩手県の地域計画の内容を参考に、大船渡市の方針を今後検討する。

【会長】

地域・地区ごとの対策等については、地域計画ではなく別途個別計画で検討することになるのか。

【事務局】

地域計画の中で、自主防災組織に関わる内容など、各地区の方々と協力して取り組んでいく内容について盛り込むことを考えている。

議事(3) その他

特になし

午後2時40分閉会